

相島を 元気にする 28の取り組み

相 島 活 性 化 プ ラ ン

相島活性化協議会
2018年3月



はじめに

「相島を元気にする28の取り組み」

2016年度より、相島区まちづくり検討会議と称して始めた取り組みは、2017年6月には「相島活性化協議会」と名前を変え、相島区で活動する各団体や学校、行政など沢山の方々が集まり検討を進めてきました。

「相島を元気にするためには、どうしたら良いのか」

「相島を元気にするためには、どうしたら良いのか」

「相島を元気にするためには、どうしたら良いのか」

集まった方々で、何度も問いかけ、頭をひねり「相島を元気にする28の取り組み」として一冊の本にまとめました。

決めた取り組みは進めていくことが必要です。

数の少ない島民だからこそ、一致団結して挑戦し、次の世代が誇りを持って住むことができる島であり続けることを願っています。

2018年3月吉日

相島活性化協議会
会長 山田 正憲



もくじ

「相島を元気にする28の取り組み」とは？

相島が抱える問題 04

相島の取り組みを決めよう 06

「相島を元気にする28の取り組み」

取り組みの指針 08

具体的な28の取り組み 09

相島の食に関する取り組み 10

相島の移住に関する取り組み 15

相島の美化に関する取り組み 22

相島の観光に関する取り組み 28

取り組みを進めるための方策

取り組みを進めるための体制 32

取り組みを進めるための工程表 33

取り組みを進めるためにできること 35

巻末資料 37

「相島を元気にする28の取り組み」とは？

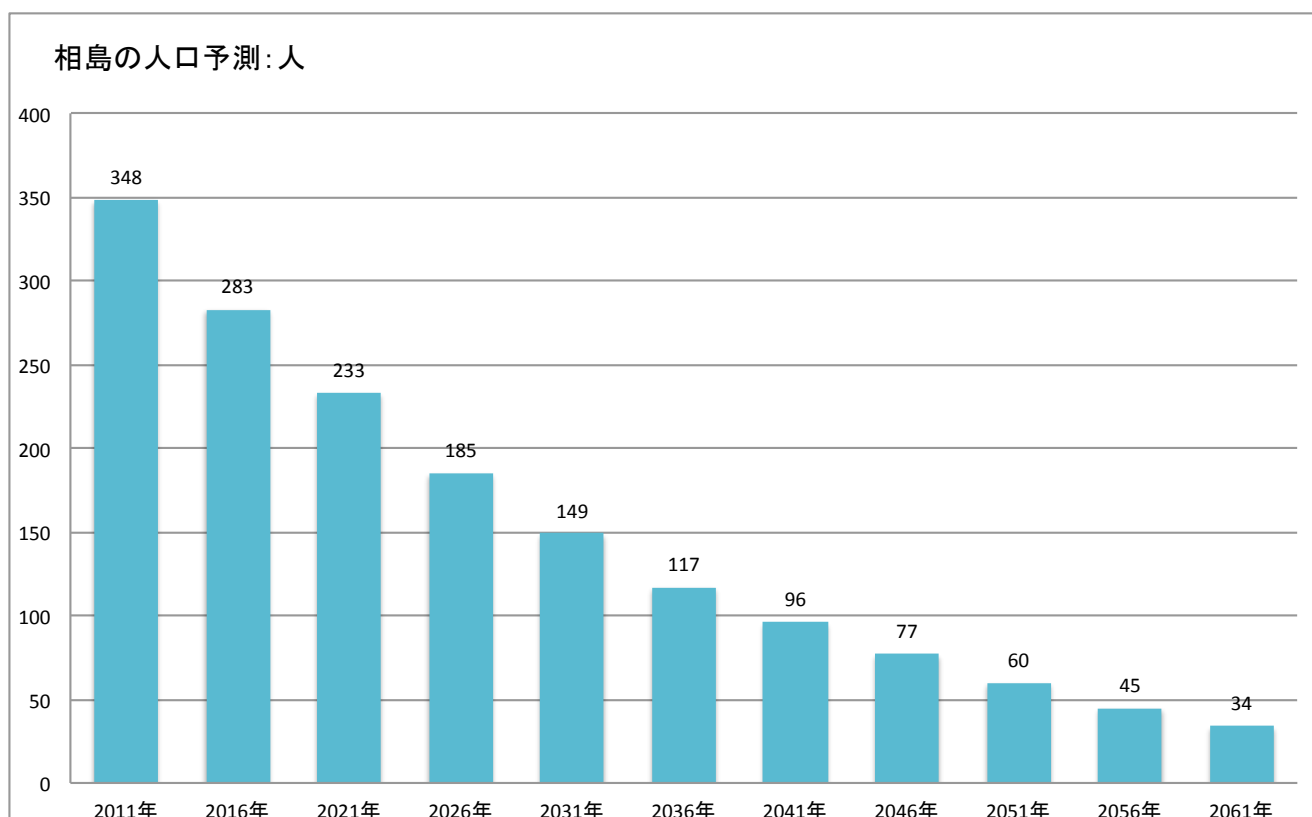
相島が抱える問題

人口の減少が待ったなし！！

最盛期の1960年には251世帯・1,318人いた相島の人口も年々減少を続け、2017年には147世帯・273人になっています。

今後、さらなる人口の減少が予想され、このまま推移すると、20年後には現在の人口の約半分になります。

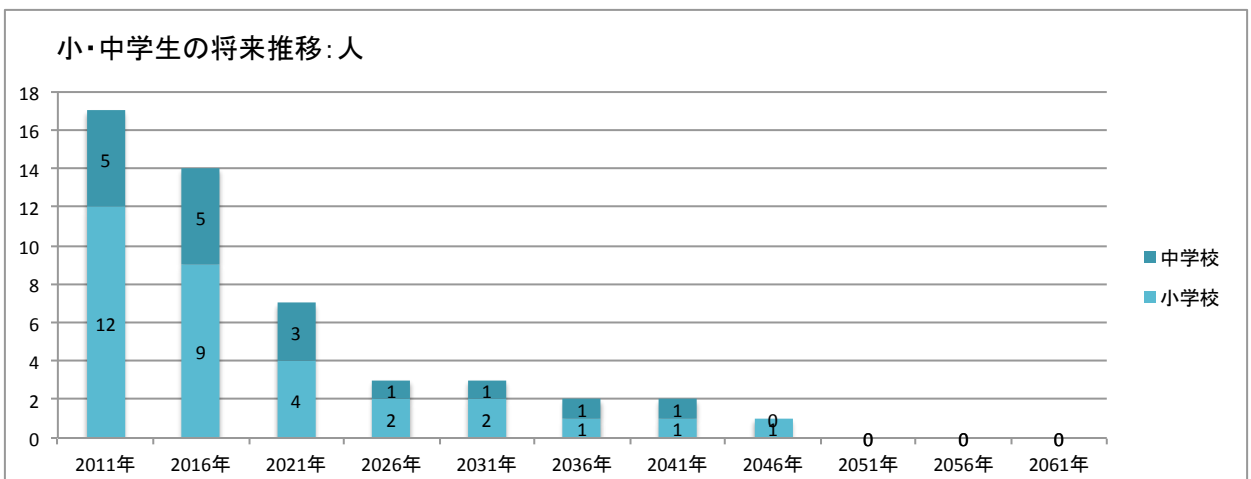
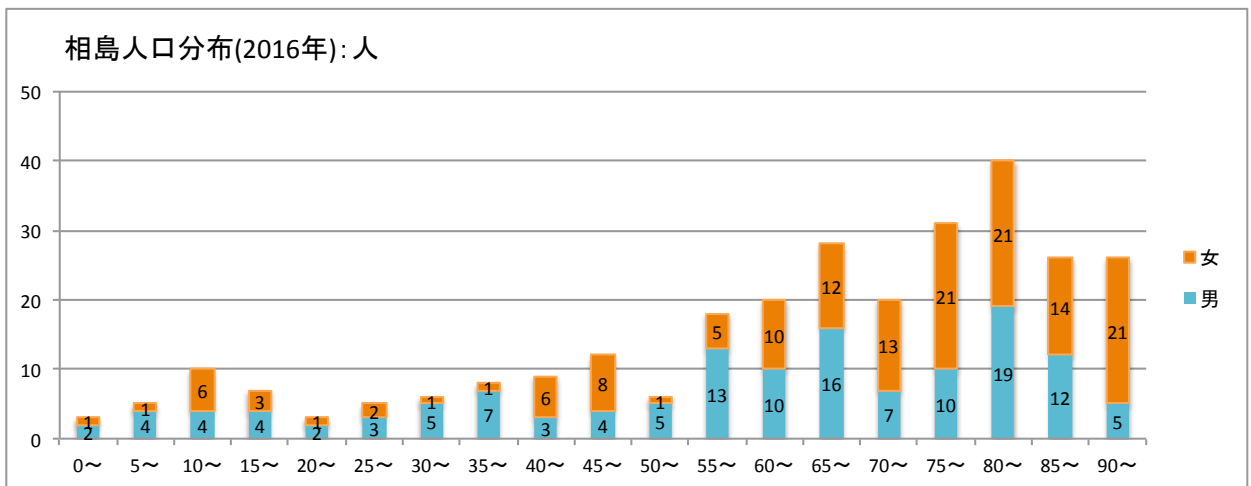
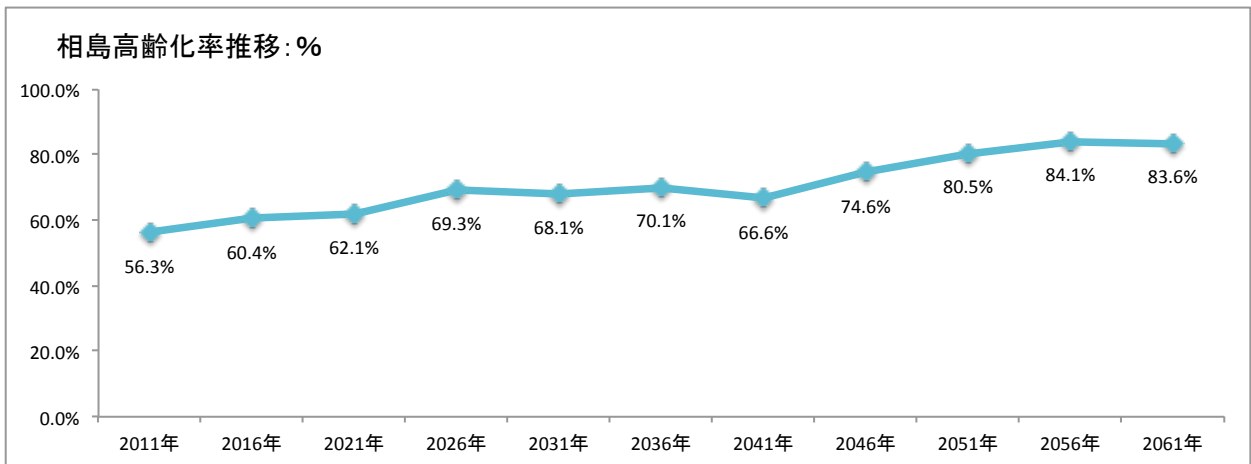
人口減少は、さらなる減少を加速させるだけでなく、税収の低下による行政サービス等の低下や、公共交通の縮小、空き家等の増加、働く場の縮小に繋がり、加速度的に相島の衰退が進み、相島の消滅に向かっていく可能性があります。



少子高齢化が待ったなし！！

現在の高齢化率は約60%（全国平均：約27%）と、既に高い数値となっており、働き盛りの20～40代の人口が極端に少なく、高齢者の多い島となっています。

このまま少子高齢化が進行すると、20年後には高齢化率が70%を超え、30年後には小・中学校に通う子がいなくなります。



相島の取り組みを決めよう

回復に向けた取り組み！！

相島の人口減少・少子高齢化は待ったなしの現状となっています。
問題の改善を図るためには、大きく下記の3つの取り組みを行っていく必要があります。

- 子供を産み育てやすい環境をつくる。
- 島外への転出を抑える。
- 新たな移住者を受け入れる。

戦略的に実行すべし！！

取り組みを実現するためには、「主要産業の強化」「新たな産業の創造」「雇用の場づくり」「移住・定住の促進」「居住施設の整備」「住みやすい島づくり」などを、戦略的にまとめ、継続的に実施していくこと、継続的に実施ができる仕組みや体制、制度などの社会システムの再構築を行っていくことが重要となってきます。

この「相島を元気にする28の取り組み」を戦略的に実行し、回復を目指していきます。